

奨励賞

大企業区分

## 株式会社アドバンテスト

※事業者の情報は応募時点(2018年)

所在地	東京都千代田区丸の内1丁目6番2号 新丸の内センタービルディング
業種	製造業
社員数	4,457名(連結)
受賞歴	なし
ウェブサイト	<a href="https://www.advantest.com/">https://www.advantest.com/</a>

### 環境行動計画達成に向けた人材育成と社会貢献

#### 取組の目的

アドバンテストは、地球との共生が重要な経営課題であるという認識に立ち「グループ環境方針」のもと、地球環境保全と持続可能な社会の実現に貢献している。そのために、関連法令の遵守や環境リスクの低減などの基盤となる取り組みも含め事業活動における消費エネルギーの低減、環境負荷の少ない製品の開発など、特定したマテリアリティに基づいた取り組みを進めている。

また環境活動で重点的に取り組むべき課題を明確にし、中期計画として「環境行動計画」を策定している。その「環境行動計画」を実現するため、環境に対する意識や思考・実践力の啓発を目的とした環境教育による人材育成を実施。そして特定した環境に関わるマテリアリティを、事業計画の部門目標や環境マネジメントの環境目標に落とし込み、継続的な活動を展開している。社員全員が環境活動に対して高い意識を持ち、自ら取り組める人材を育成する事を目指して活動している。

#### アドバンテストグループ環境教育

##### 環境教育の目的

今回の環境教育の目的は、環境方針を理解し環境保全活動に継続して取り組むことです。

環境保全は、今日人類が直面する最も差し迫った課題となっています。

私たちは、企業が環境と調和して行動しなければならないという原則に基づきアドバンテストグループ環境方針を策定しました。

このポリシーは、グローバル企業としての責任を果たすための多面的かつ総合的な活動方針です。

ADVANTEST.

## 取組の実績

### 1. 環境方針の策定

アドバンテスグループ環境方針を策定し、地球環境保全と持続可能な社会の実現に貢献している。

### 2. 環境行動計画の策定

環境活動で重点的に取り組むべき課題を明確にし、中期計画として「環境行動計画」を策定している。 <https://www.advantest.com/ja/csr-2018/eactionplan>

### 3. E-learning による全社員教育の実施

環境に対する意識の啓発や思考・実践力の啓発を目的とした、下記の環境教育を実施した。

#### ●環境教育プログラム一覧 <https://www.advantest.com/ja/csr-2018/emanagement>

新入社員研修 / 内部環境監査員教育 / 化学物質教育 / 環境 VE 提案の募集 / 森林保全活動

2017 年度 環境一般教育 受講率: 99.8% 2017 年度化学物質教育 受講率: 100%

例: 環境教育は、環境方針を理解し環境保全活動に継続して取り組むことを目的とし、教育資料には最新の情報(SDGs)も取り入れた。受講状況はシステムで管理し、未受講者に対してはフォローアップのメールを送るなど万全なサポート体制が整っている。また、社員に各部門(所属部門)の環境目標を示し、社員にその目標を達成するべく指導・教育を実施している。

目標と実績については、サステナビリティレポート 2018>「環境行動計画」>2017 年度の実績を参照。 <https://www.advantest.com/ja/csr-2018/eactionplan>

化学物質教育では、日常業務で化学品を使用する従業員が、安全に取り扱う事ができることを目的として、定期的に従業員が教育資料を作成している。

### 4. 年間アクティビティ

#### ●ISO14001 活動

ISO14001 活動の 1 つとして、環境行動計画達成のため、部門ごとに取り組むべき環境目標を立て、環境に配慮した製品開発や設計という本業に結び付いた取組を実施。環境方針から各部門に目標をブレイクダウンし、環境行動計画に結びつけている。

社員に各部門(所属部門)の環境目標を示し、社員にその目標を達成するべく指導・教育を実施している。 <https://www.advantest.com/ja/csr-2018/eactionplan>

目標と実績については、サステナビリティレポート 2018>「環境行動計画」>2017 年度の実績を参照。

#### ●グリーン製品

「省エネルギー・省資源対策」「リサイクル性の向上」「有害物質の排除」の 3 つのポイントで環境に配慮した製品をグリーン製品と認定している。それを社内のグリーン設計基準書に反映している。

## 「環境 人づくり企業大賞 2018」受賞企業の取組事例

製品環境アセスメント審査担当者が、製品開発担当者に開発の度に製品の環境対策について指導・教育を行っている。審査担当者自身も外部団体の委員会などに参加し、教育を受けている。

社員がグリーン製品の自社の基準を策定し、基準をクリアした製品にエコラベルを付与している。  
<https://www.advantest.com/ja/csr-2018/green-product>

### ●グリーン調達

製品使用部品から有害物質を排除するために、サプライヤーに対し、環境調査票の提出を義務づけて、環境調査を実施している。また、社内で作成した化学物質運用基準書(※)と環境調査票(※)を用い、社員に有害物質排除の教育を実施している。さらに、化学物質(RoHS6 物質、法令禁止物質、表示義務物質、SVHC(高懸念物質)、高効率規制)について社員(開発担当など)に教育を行っている。  
<https://www.advantest.com/ja/csr-2018/business-connection>

※)化学物質を社内で運用するための基準書および部品を購入する際のサプライヤー向け化学物質含有調査票

### ●ビオトープ(自然観察会) / 理科工作教室

2018年9月および10月、群馬 R&D センタのビオトープで、従業員が講師となり、地元の小学生を対象とした自然観察会を実施。児童99名が参加した。また7月には「理科工作教室」を開催し、小学生40名、保護者を含めると総勢87名が参加。地元の小学生への教育支援、および地域社会へ貢献した。

<https://www.advantest.com/ja/news?articleId=2721104>

<https://www.advantest.com/ja/news?articleId=2244089>

### ●森林保全

2017年10月、役員および従業員がボランティアとして参加し「草津ロイヤルコース」(群馬県吾妻郡)にて森林保全活動を実施。吾妻森林管理署の指導のもと除伐作業を行った。

<https://www.advantest.com/ja/news?articleId=1865114>

## 成果・課題

四半期ごとに環境推進会議を開催。環境担当役員をはじめ各部門の責任者および推進員が参加し、部門で立てた環境目標の進捗状況の発表や熱い議論が交わされ、社員の環境意識の向上が図られている。

### ●ビオトープ / 理科教室

2001年、群馬 R&D センタに国内企業では最大級のビオトープを創設し、以来、生物多様性の維持、環境保全活動に取り組んできた。社員が地球環境の大切さを学ぶ環境教育の場として、また、地域住民とのコミュニケーションの場として活用されている。

地元の小学生を対象としたビオトープ観察会は、2005年から開始し、今年で35回目を迎えた。現在まで、のべ約2,000名の児童が参加している。児童たちからは、例年感謝の作文が届くほど毎回好評を得ている。

また、2005年から続いている理科工作教室は、2018年に、のべ受講者数(児童数)が2,347名に達した。

さらに、群馬大学との共同研究による希少植物のモニタリング調査も実施。従業員だけでなく、

## 「環境 人づくり企業大賞 2018」受賞企業の取組事例

外部も巻き込んだ活動となっている。従業員が外部とのコミュニケーションを通じ、地域社会に貢献できる人材育成に繋がっている。

### ●E-learning

E-learning の成果としては、海外を含め毎年ほぼ 100%の受講率を達成し、個人レベルで環境意識の高い人材が育っている。また、化学物質教育の結果、化学物質を安全に取り扱える人材を育成し、無事故に繋がっている。

### ●グリーン製品 / グリーン調達

グリーン製品/調達については、部品の取引先や組立・加工協力会社を含めた生産活動全体で有害物質排除を徹底し、グリーン製品の開発につなげている。取引先とのコミュニケーションを推進し、製品に組み込む部品・材料や製造プロセスにおいても、品質、コスト、納期に加えて環境保全の視点を取り入れ、2002 年度より「アドバンテストグリーン調達ガイドライン」を策定し、運用している。

環境負荷を考慮した部品の選定および製品設計ができる人材を育成した。

### ●森林保全活動

森林保全は 2007 年から毎年実施し、2017 年で 11 回目を迎えた。参加者からは「今後も森林保全活動に継続して参加したい」などの声があり、自然保護活動の関心も高まった。森林保全活動を通じ、より一層自然保護の貢献に取り組む人材を育成した。

## 今後の改善

企業に求められる環境負荷低減、環境貢献活動は年々分野の広がりを見せており、果たすべき役割と責任は従前にまして大きなものとなっている。

このような役割と責任を果たしていくためには会社全体で取り組む必要があり、従業員への環境に関する教育・育成が具体的な活動を支える基本である。

当社の事業活動に直結した活動を基本として、経営層がリーダーシップを発揮して人材育成および環境活動に取り組んでいる。今後に向けては気候変動対策をはじめとして社会的課題の解決に対する従業員の意識の向上に努め、具体的な対応、対策の実施に取り組んでいく。

## 関連・補足情報

### サステナビリティレポート 2018

<https://www.advantest.com/ja/csr-2018>

### 審査委員会からの講評

半導体・部品テストシステム事業、メカトロニクス関連事業等を行う同社は、地球との共生が重要な経営課題であるという認識に立ち、環境方針や環境行動計画を策定している。その実現のために自ら取り組める人材を育成するとして、e ラーニングによる全社員教育を実施。教育資料には、長期的かつ世界共通の取組として SDGs が紹介され、企業が果たすべき役割と責任が拡がりを見せていることを理解している。

製品使用部品から有害物質を排除するためにサプライヤーに対し、環境調査票の提出を義務付けている。同社のグリーン調達は、関係する企業を巻き込んだ波及性の高い環境教育と言える。受講率 100%の化学物質教育は、化学物質を安全に取り扱える人材を育成し、無事故に繋げるなど、社員の行動変容を促している。